

第1回 天草市上下水道事業運営審議会

令和6年1月24日

～天草市における水道事業の現状～

天草市水道局水道課・経営管理課

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について

2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要
4. 人口・水量実績
5. 財政状況
6. 水道料金
7. 将来の動向
8. まとめ

1. 水道事業について

- ・水道事業の目的は、水道法第1条で規定されています。

◎水道法第一条 この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強化することによって、**清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること**を目的とする。

1. 水道事業について

・給水対象者や施設規模によりさまざまな水道があります。

種別	内容	市町合併前 事業数	市町合併時 事業数	H29.4以降 事業数
水道事業 (法第3条第2項)	一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業 (給水人口100人以下は除く)			
上水道事業 (法第3条第3項)	給水人口が5,000人超の水道事業	4	1	1
簡易水道事業 (法第3条第3項)	給水人口が5,000人以下の水道事業	12	12	0
水道用水供給事業 (法第3条第4項)	水道事業者に対し水道用水を供給する事業			
専用水道 (法第3条第6項)	寄宿舍、社宅等の自家用水道等で100人を超える居住者に給水するもの又は1日最大給水量が20m ³ を超えるもの	3	3	3

1. 水道事業について

水道事業

地方財政法施行令第46条

市町村が経営
する企業

公営企業

公営企業の経営⇒

地方財政法第6条

経費

負担の明確化

経常

独立採算制

会計

特別会計

経理区分

官公庁会計

地方公営企業法の適用

経理区分

企業会計

地方財政法施行令第46条

- 一 水道事業
- 二 工業用水道事業
- 三 交通事業
- 四 電気事業
- 五 ガス事業
- 六 簡易水道事業
- 七 港湾整備事業
- 八 病院事業
- 九 市場事業
- 十 と畜事業
- 十一 観光施設事業
- 十二 宅地造成事業
- 十三 公共下水道事業

1. 水道事業について

項目	官公庁会計	企業会計
予算区分	歳入・歳出のみ	損益取引と資本取引の区分
経理区分	単式簿記	複式簿記
経理認識	現金主義	発生主義
資産把握	財産台帳のみ	減価償却管理
出納整理期間	翌年度5月31日迄	なし

官公庁会計と企業会計では、会計方式が異なります。

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について

2. 天草市水道事業の沿革

3. 水道施設の概要

4. 人口・水量実績

5. 財政状況

6. 水道料金

7. 将来の動向

8. まとめ

2. 天草市の水道事業の沿革について

◎平成18年3月27日の2市8町の合併に伴い、本渡市水道事業が、上水道事業のある牛深市上水道事業、御所浦町水道事業、五和町上水道事業を譲り受ける形で天草市水道事業として誕生。

◎簡易水道事業は、旧市町ごとに運営していた12事業を引き続き運営。

◎平成29年4月、簡易水道事業を上水道事業へと統合。

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革

3. 水道施設の概要

4. 人口・水量実績
5. 財政状況
6. 水道料金
7. 将来の動向
8. まとめ

3. 水道施設の概要



普及率
93.51%

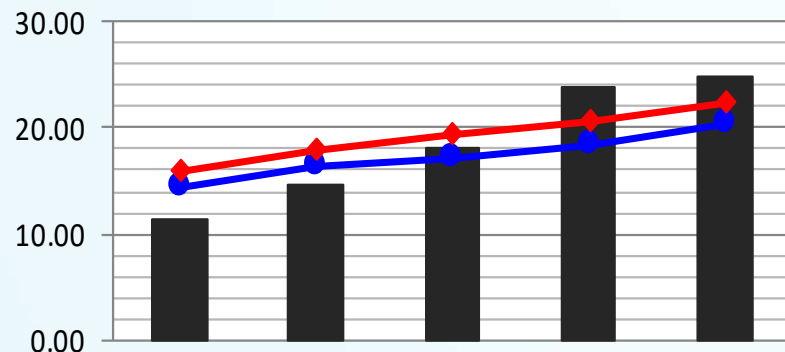
3. 水道施設の概要



天草市の水道管(導水管・送水管・配水管)は約1,233kmあり、天草市役所から東京都庁までの距離とほぼ同じです。

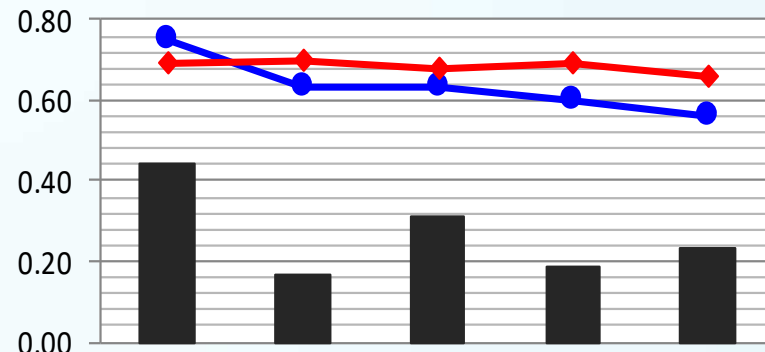
3. 水道施設の概要

(3) 管路経年化率(%)



	H29	H30	R1	R2	R3
天草市	11.34	14.65	18.02	23.80	24.73
類似団体	14.48	16.27	17.11	18.33	20.27
全国平均	15.89	17.80	19.44	20.63	22.30

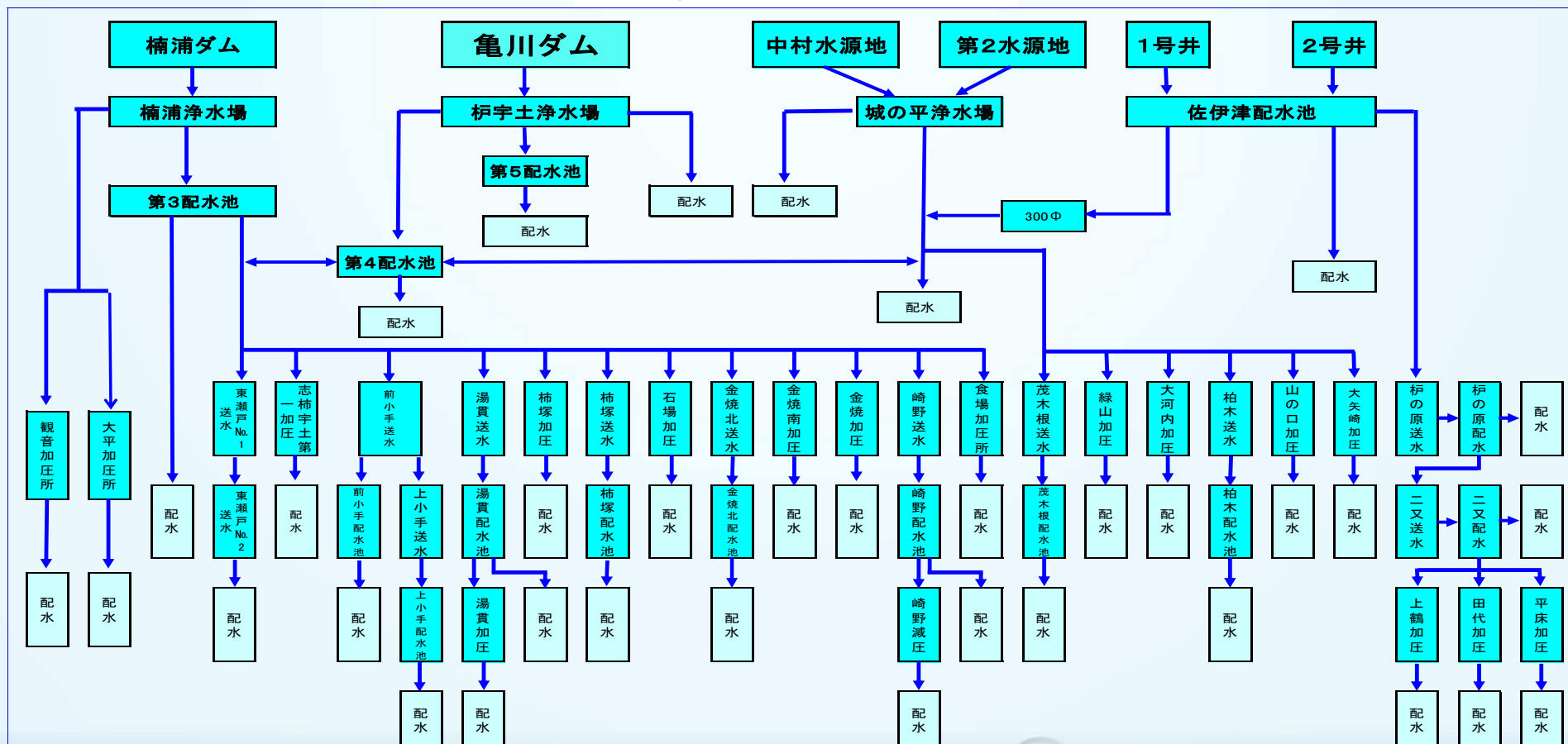
(4) 管路更新率(%)



	H29	H30	R1	R2	R3
天草市	0.44	0.17	0.31	0.19	0.23
類似団体	0.75	0.63	0.63	0.60	0.56
全国平均	0.69	0.70	0.68	0.69	0.66

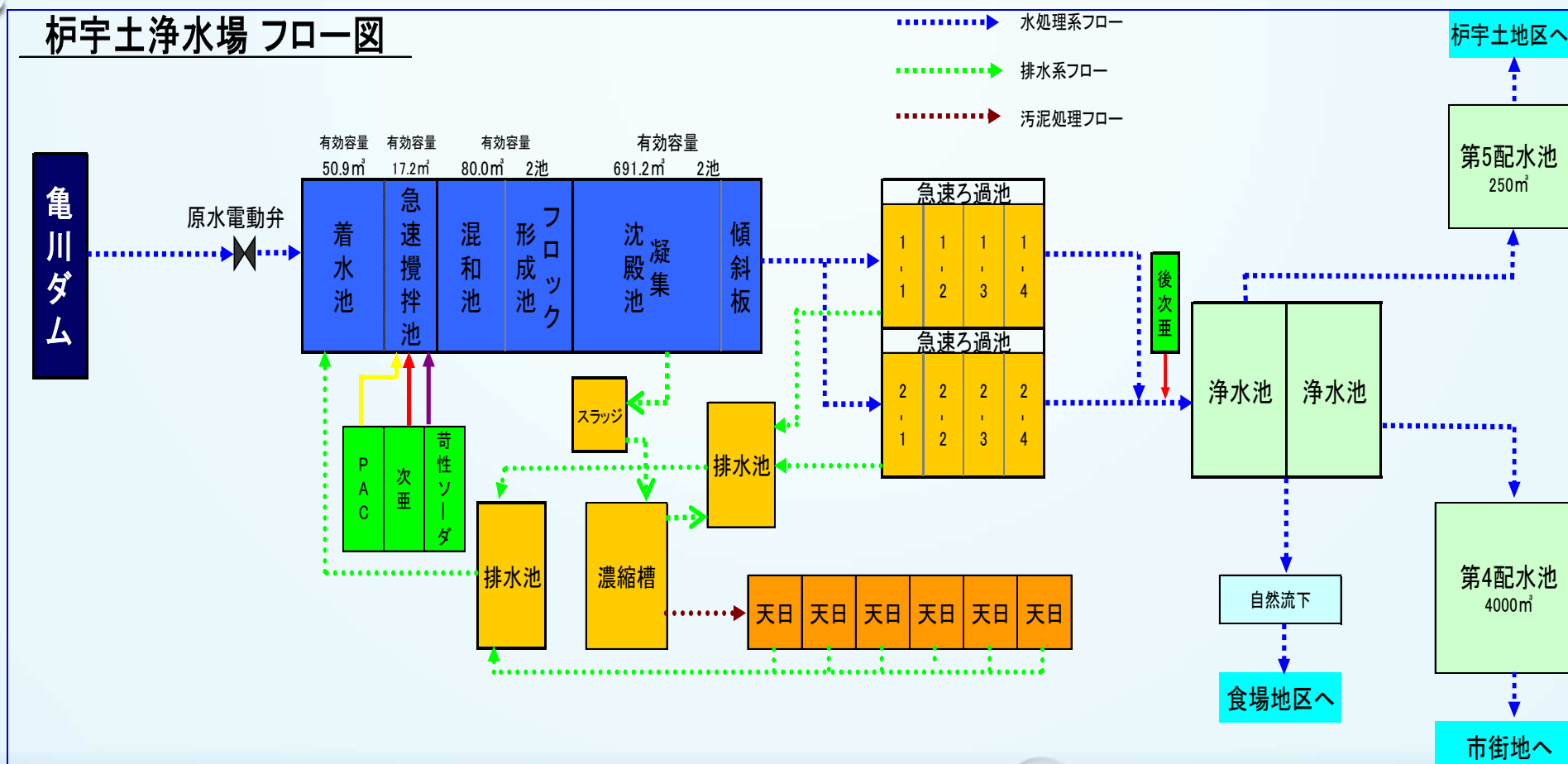
3. 水道施設の概要

本渡地区フロー図



3. 水道施設の概要

梶宇土浄水場 フロー図



3. 水道施設の概要



3. 水道施設の概要



栢宇土浄水場

3. 水道施設の概要

着水池



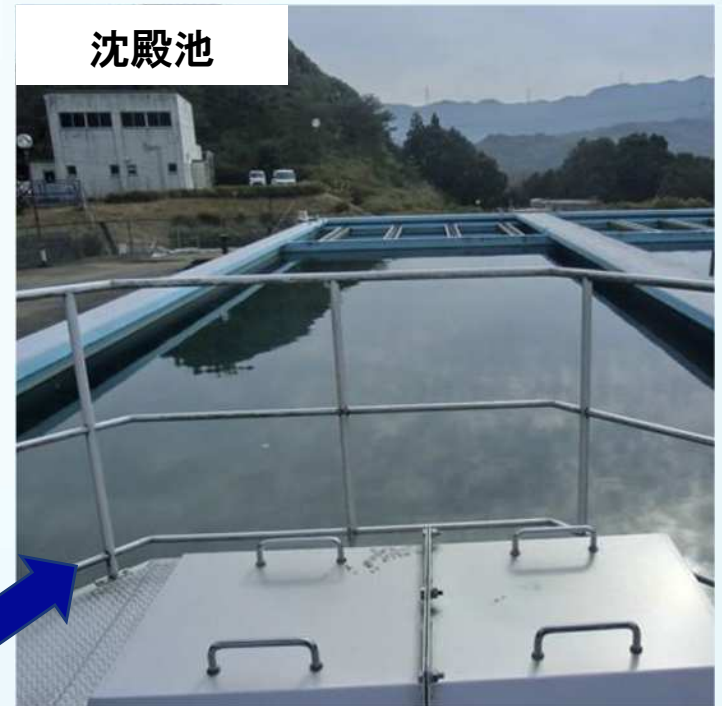
混和池



フロック形成池



沈殿池

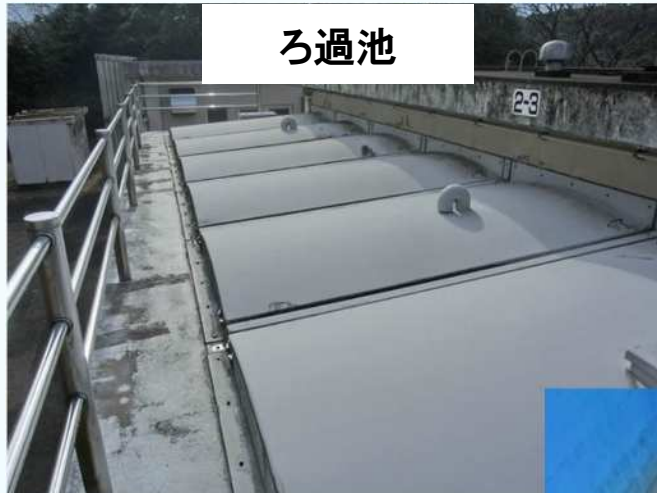


3. 水道施設の概要

ろ過池建屋



ろ過池



ろ過池内部



3. 水道施設の概要



市街地へ

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要

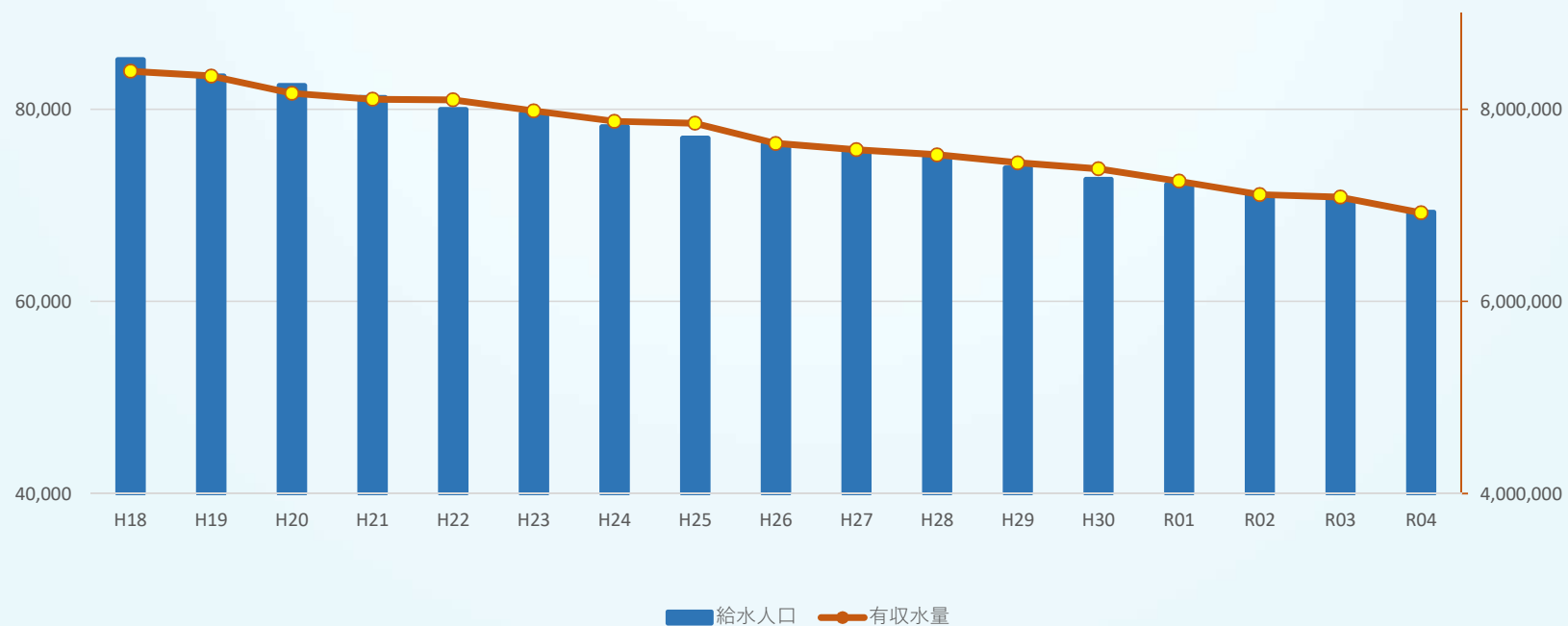
4. 人口・水量実績

5. 財政状況
6. 水道料金
7. 将来の動向
8. まとめ

4. 人口・水量実績

- ・給水人口、有収水量ともに減少している。

給水人口及び有収水量



有収水量：料金収入の対象となった水量

4. 人口・水量実績

給水収益及び有収水量



第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

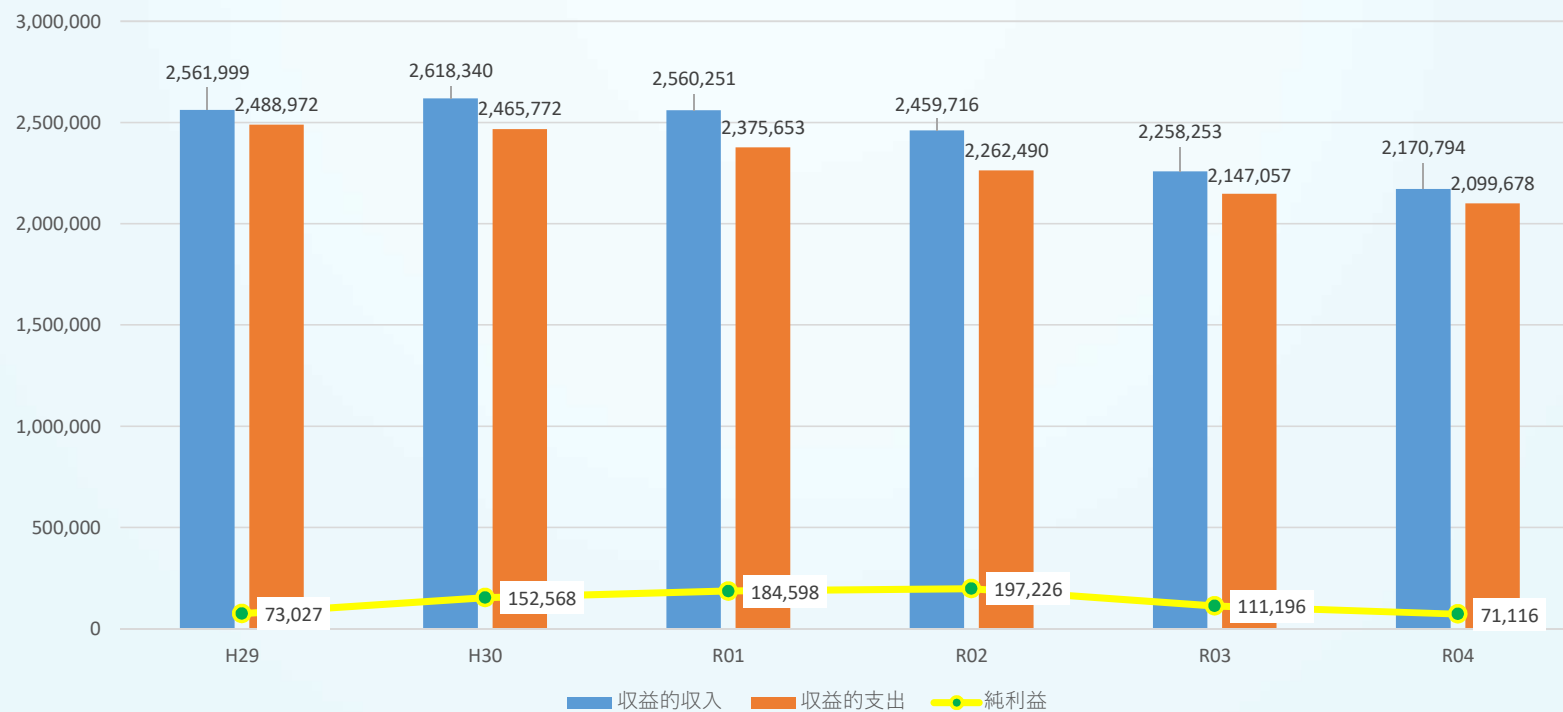
1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要
4. 人口・水量実績

5. 財政状況

6. 水道料金
7. 将来の動向
8. まとめ

5. 財政状況

・「収入」が「支出」を上回っているが、「収入」は給水人口の減少により年々減少



収益的収支の推移

5. 財政状況

・企業債残高は年々減少、資金残高は4年度末で減少に転じた。



企業債残高と資金残高の推移

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要
4. 人口・水量実績
5. 財政状況

6. 水道料金

7. 将来の動向
8. まとめ

6. 水道料金

- ・一般用水道料金は口径別に区分
- ・基本料金と従量料金
- ・水量により単価が増加する逡増型

現行の水道料金表

基本料金(基本水量なし)								
口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm以上
金額	1,200円	1,500円	2,000円	3,000円	3,400円	5,000円	8,000円	10,000円

従量料金					
水量	1m ³ 以上8m ³ 以下	9m ³ 以上30m ³ 以下	31m ³ 以上50m ³ 以下	51m ³ 以上100m ³ 以下	101m ³ 以上
料金	55円	220円	230円	235円	240円

6. 水道料金

- ・他に浴場用、一時用がある
- ・手数料は給水装置工事に係る申請時等に納付

現行の水道料金表

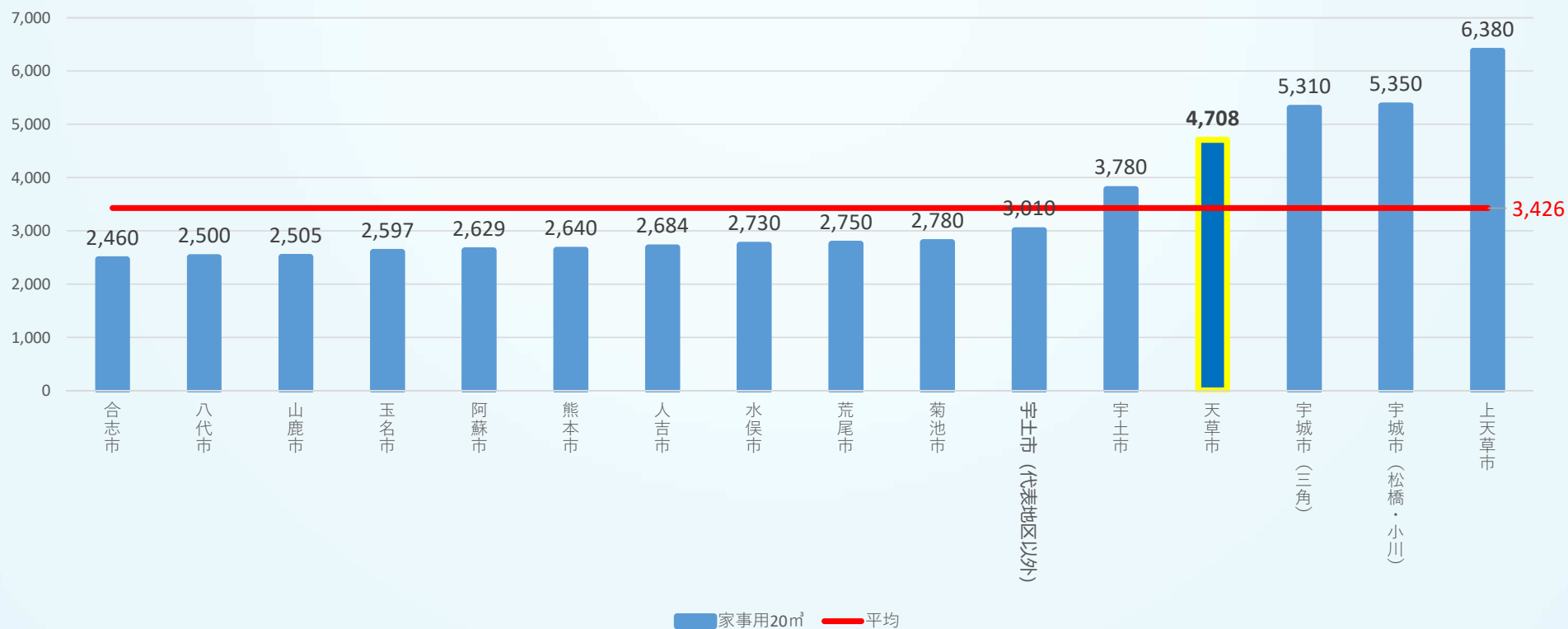
浴場用		
基本料金	従量料金(100m ³ 以下)	従量料金(101m ³ 以上)
2,000円	80円	155円
一時用		
1m ³ につき		
260円		

現行の手数料

手数料		
給水装置工事事業者の指定及び更新	給水装置工事の設計審査	給水装置工事のしゅん工検査
10,000円	500円	1,000円

6. 水道料金

・県内各市水道事業の中では上位



20m³使用時の比較(日本水道協会「水道料金表(令和5年4月1日現在)」より抜粋)

第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

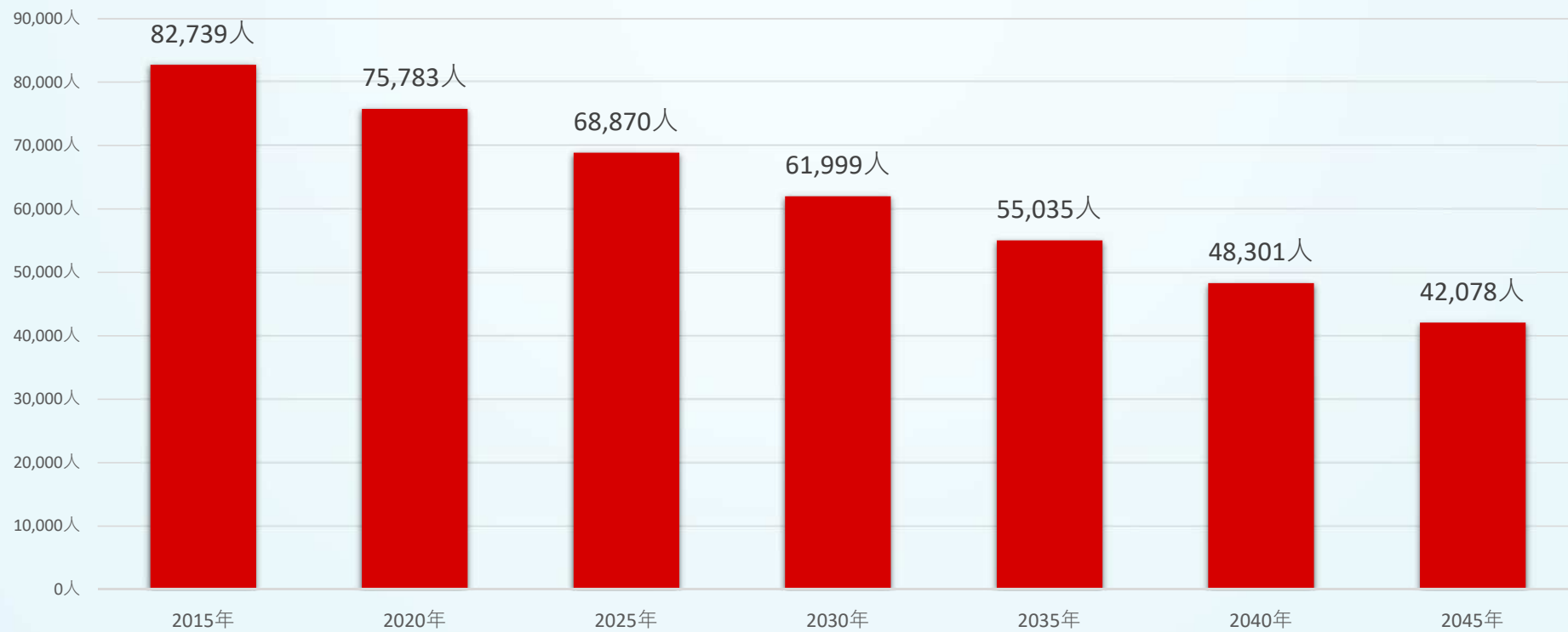
1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要
4. 人口・水量実績
5. 財政状況
6. 水道料金

7. 将来の動向

8. まとめ

7. 将来の動向

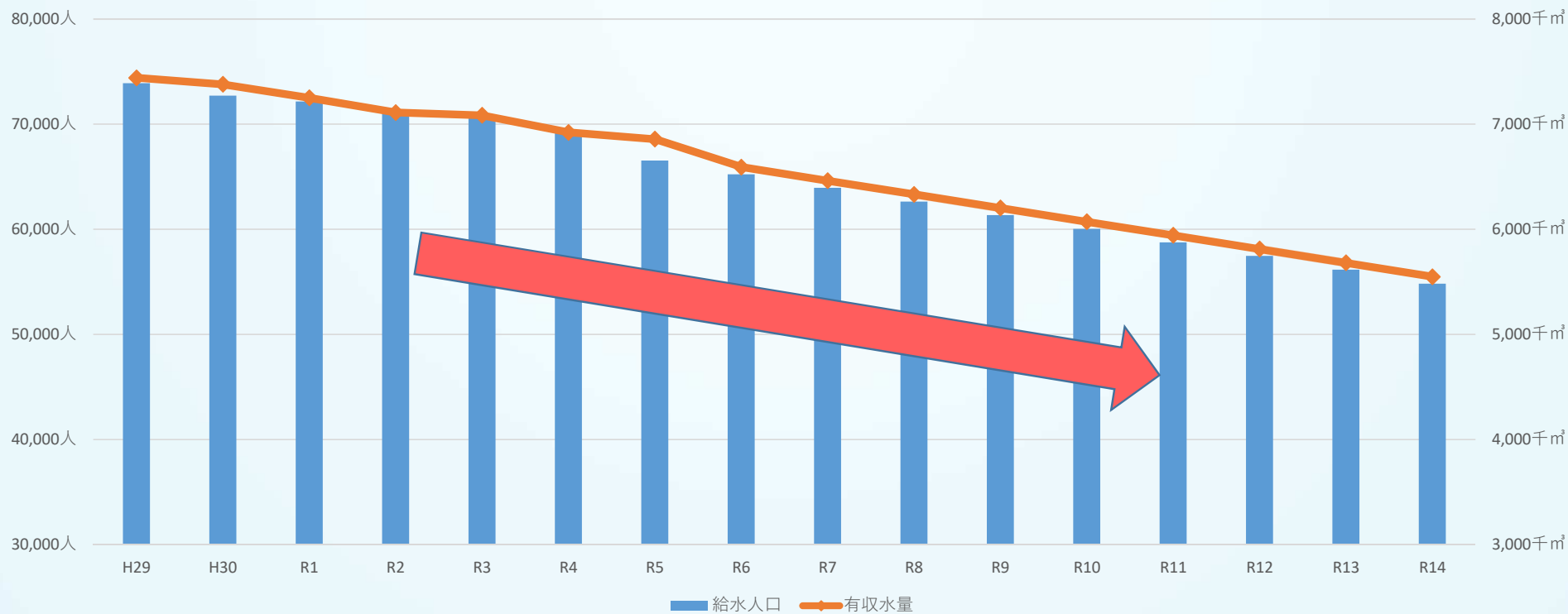
・天草市の人口は年々減少していく



H27～R2年国勢調査の推移を基に天草市(政策企画課)においてコーホート変化率を用いて独自に算出

7. 将来の動向

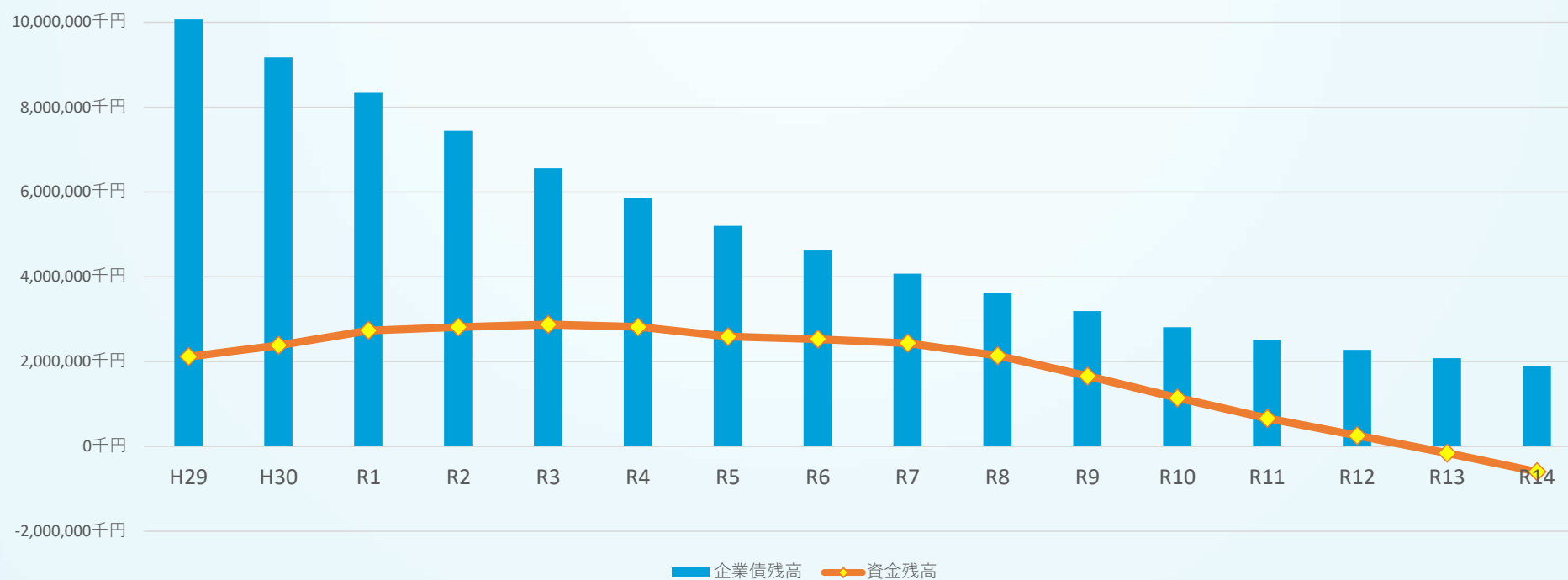
・給水人口、有収水量ともに減少し続けることを想定



給水人口と有収水量の予測(天草市水道事業経営戦略)

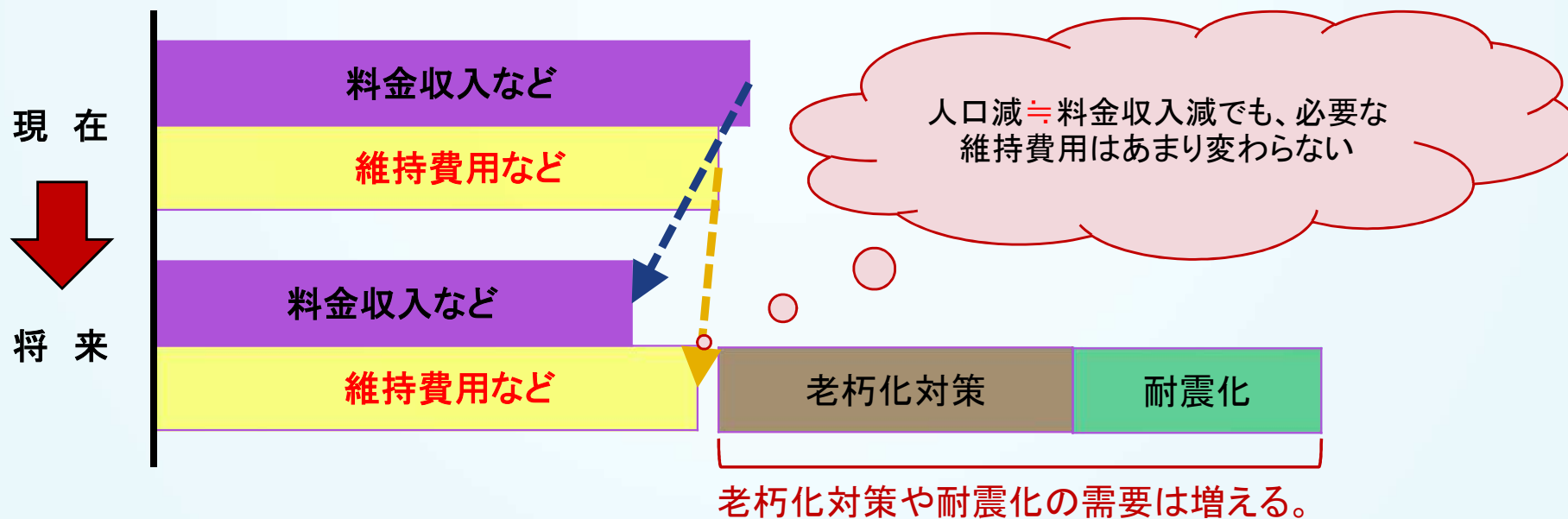
7. 将来の動向

・資金残高は減少し、R13からマイナス化



企業債残高と資金残高の試算結果

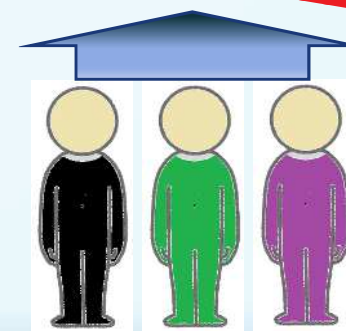
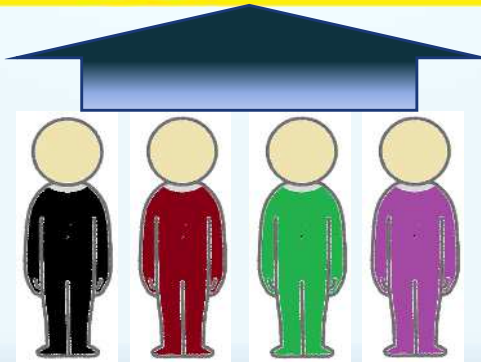
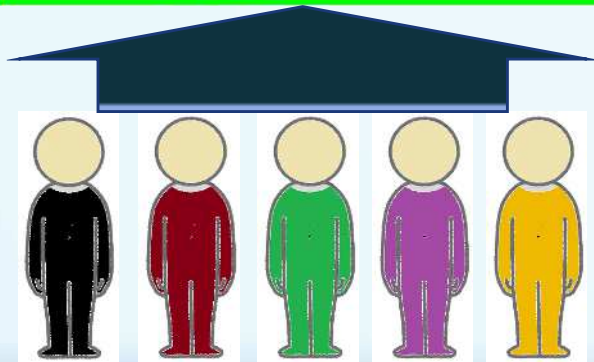
7. 将来の動向



- このままでは、水道事業の**運営がなりたらず**、
- いかにして**事業持続性**を確保するのかが今後の課題

7. 将来の動向

- ・給水人口の減少により、浄水場や水道管を支える人が減っていく



第1回審議会の説明内容

～天草市における水道事業の現状～

1. 水道事業について
2. 天草市水道事業の沿革
3. 水道施設の概要
4. 人口・水量実績
5. 財政状況
6. 水道料金
7. 将来の動向

8. まとめ

8. まとめ

【現状と課題】

- ①施設の老朽化の進行
- ②大規模地震対策
- ③施設の統廃合・配水管の連結（事業統合のメリット化）
- ④水道事業経営の健全性及び持続性

これらの課題を解決し、将来にわたり安全な水道水を安定供給していくため、水道事業の基盤強化を図ることが重要。

そこで!

水道事業基盤強化に係る事業の取り組みを進めています。

1. 漏水回避のための管路更新
2. 基幹管路の更新及び耐震化工事
3. 遠隔監視システムの計画的な整備
4. 天草市水道施設基本計画の策定（効率的な水運用の強化）